

下関市立大学広報

2002年2月1日 第36号

発行

下関市立大学広報委員会

山口県下関市大学町2-1-1

TEL 0832(52)0288

FAX 0832(52)8099

<http://www.shimonoseki-cu.ac.jp/>

(題字 中山尊名誉教授)



下山学長とグリフィス大学ロイ・ウェブ学長(左の写真)、クイーンズランド大学トレバー・グリック副学長(右の写真)

オーストラリア大学訪問

下山 房雄

本学大学祭の頃、オーストラリアは夏の入り口。ジャカランダ(Jacaranda)という咲き方、散り方が桜によく似た雰囲気の、しかし紫色の花のシーズンさなかに、ブリスベン近郊に展開する伝統のクイーンズランド大学(UQ)と新興のグリフィス大学(UG)を訪問した。近年、オセアニア地区ではゼロにまで激減してしまった本学=2大学・交換留学生に対する奨学金を獲得する手段としてUMAP(University Mobility in Asia and the Pacific)機構の単位互換制度に乗るために文書に調印し、あわせて関係人士との友好連帯の絆を強めることが目的であった。因みに、日本製造業実質労働生産性世界第2位—95—98年についての社会経済生産性本部の計測。つまり90年代以降の日本経済の困難は国際競争力を欠くからではない!—の条件のもとで、オーストラリアドルは現在値63円の円高傾向にあり、日本からの旅行者にはラッキーだが、奨学金無しでの日本への留学は著しく困難になっている。

さて、内山教授が公設秘書、UQのアジア言語研究部門に勤務する内山加代子さん(内山教授夫人)が無償の現地秘書、そして私の妻・多美子が同じく無償の私設秘書という役割の、巧みな分業協業におんぶに抱っこで、その目的は十二分に果たすことができた。実際に多くの人にお会いし、お話しした。まずは、文書調印の関連でUQの副学長、UGの学長など二大学の幹部の方々、そして本学への留学生を送り出す部門と本学からの留学生を迎える部門の現場教職員の方々、さらには何かの時に援助を頂けることになるブリスベンの親友あるいは知日人士の方々とである。

たまたま国会選挙の最中で、その争点の一つが教育問題ということもあり、ニューエコノミーの大学政策への影響が話題の一つであった。UQでは各所で建設工事が行われていたが、それは国家投資ではなくて独立採算的に利子を付けて資金返却をしていく借金によっているらしい。UGでは、アフガン戦争反対のステッカーを見たということもあり、9.11テロ以降の学生運動について聞いたが、教員参加のシンポを開くなど理性的な対応で動いているとのことだった。本学、北九大、九大からの留学生との懇談や、UQにある日一英の同時通訳訓練の機関MAJIT(Master of



Arts in Japanese Interpreting and Translation)で教育素材として講演「戦後日本の労使関係」を行なうということもあった。

3組のご夫妻のところに、つまり計3晩にわたって、それぞれのご自宅の夕食にお招き頂いた。以下の手紙は、そのうちの1組の夫妻Desmarchelierさん(ご夫君Johnは実業界の人でUQの評議員。奥様TeresaはUGのコンセルヴァトワールでオペラ歌手にイタリア語を教えていた人、私とはフランス語で話した)が帰日前夜にわざわざホテルまでお土産にとアボリジニの絵を1枚届けて下さったその折に、頂いたものである。

「Dear Professor and Mrs. Shimoyama

It was such a pleasure to meet you and we hope you will return to Brisbane so that we can get to know each other better. We hope you like this souvenir of Australian art and that it will remind you of us when you return to Japan. We wish you a safe trip home.

Best regards.」

(学長)

青島大学学長一行の来訪



平成13年10月24日、本学の友好交流協定校である青島大学から徐健培学長の一行5名が本学を訪問した。下山学長をはじめ、教職員や青島大学交換留学生と懇談した。学内見学の後、日中平和祈念慰靈の碑、日清講和記念館、海響館などを訪れた。火の山展望レストランでの昼食会では、1995年以降派遣や研修で青島大学を訪れた教員5名が、世話をになった周曉莉外事処長と旧交をあたためた。

大学祭報告

第40回馬関祭実行委員長 高瀬晃



11月4日をもって、長かった大学祭実行委員会の仕事が終了しました。何となく入った実行委員会だったけど、自分でも3年間続けられたことが不思議に思います。1、2年生の頃は先輩から言わされた事をやるだけだったけれど、3年生の、しかも委員長という役につかせてもらい、委員会の本当の辛さがわかりました。最初は何もわからず手探りの状態だったのですが、先輩方のアドバイスや後輩の働きにより無事に成功させることができました。

今年の大学祭は、自分たちでも恐いくらいに順調に物事が進んでいました。毎年必ずと言っていいほど準備段階で大きな問題が発生していました。しかし今年は、ささいな事は起きていましたが、これといった問題も起きる事なく当日を迎えることができました。

初日は毎年恒例となっている、馬関祭名物のふく鍋があり、なかなか好評で、多くの人に食べてもらうことができました。また他大学からもダンスサークルを招待して前夜祭に花を添えて頂きました。

2日目は私達実行委員会が最も恐れていた各サークル・コンパの日でした。ここ数年間、救急車を呼ばない大学祭を実現させてきていましたので警備にも一層力が入りました。しかしサークルの方々の協力のおかげで楽しく無事に終えることができました。

3日目は馬関祭のメインとも言えるコンサートがありました。この日はあいにくの雨となり、お客様の数に影響が出ると思いましたが、足下の悪い中、沢山の人に来て頂き、コンサートは大成功に終わり一安心しました。

そして最終日の4日目には、輪島功一さんをお招きしての講演会があり愉快なお話を聞いて頂きました。夜を迎えて全プログラムが終了してから打ち上げられる花火を見た時は、正直涙が止まりませんでした。

このように大学祭が成功した陰には、市民の方々やコンサート協賛にご協力して頂いた企業の方々、また必要資材を貸して頂いた方々の存在があります。これらの協力がなければ実現できなかったことであり、本当に感謝しています。

私達はこれで引退です。馬関祭はまだまだこれからも続いていきます。今回のメインテーマを「リバース」としたように、毎回フレッシュに生まれ変わる、そんな祭を準備する後輩達の姿を陰ながら見守っていこうと思います。

幹部をはじめ大学祭実行委員会のメンバー、1年間本当にありがとうございました。

(経済学科3年)

キャンパス大掃除



9月19日、グラウンドの大清掃が行なわれました。グラウンドには、粗大ゴミが放置したまま、何年も経ったままでした。洗濯機やテレビや冷蔵庫など多数でした。中には、コンロやストーブなど、グラウンドになぜというような物まで出てきました。

当日は、このような莫大なごみを回収し、業者にその処分を委託するという方法をとりました。当日の参加人数は、約100名で、朝9時より始め、終了したのは、16時でした。

あの日は、暑くて本当に疲れた一日でした。学友会館運営委員会で大清掃が計画されて3ヶ月、計画通りいかない場面もありました。しかし、この間、学友会と学生部と先生方が、一つになったように感じました。来年度以降も大清掃を続けていきたいと感じています。この活動が、学校美化として全学生に広がってくれたら、この活動を続けていく意義が、さらに大きくなっていくと思っています。

(実行メンバーより)

ベンチャービジネス論が開講されています

佐々由宇



今年度秋学期から、国際商学特講の枠を利用してベンチャービジネス論が開講されています。これは、講師の選定、費用負担など山口県商工労働部新産業振興課とやまぐち産業振興財団の積極的支援を受けて、社会人をも対象にした公開講座として実施されています。同様の試みとしては、県内では山口大学、徳山大学に次いで3番目のものです。

内容は延べ14名の講師によるリレー方式で行われ、講義

の一環としてシンポジウムも開催されました。講師陣には神戸大学大学院の加登豊教授をはじめ学界・産業界から広くご活躍の方をお迎えしましたが、なんといってもその特徴はベンチャー事業に取り組んでこられた方を多数お招きし、とくに女性ベンチャーを2名含んでいることです。

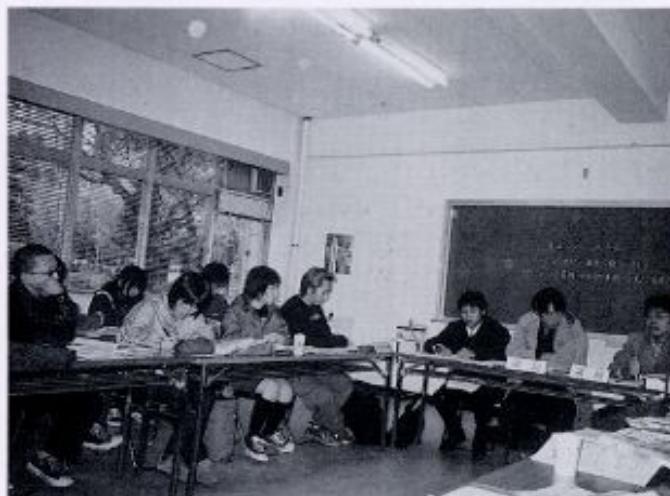
大学の講義の一環として開講されるのですから理論はもちろん大切なのですが、それだけではなく実務経験者の話を多く取り入れた、実践的内容になっています。

今年度の受講生は学生79名、社会人21名ですが、総じて熱心な受講態度です。本講義は来年度も開講を予定していますが、学生には今後の人生の選択肢のひとつとして、また産業空洞化が進む中雇用吸収の受け皿として期待が高まっているベンチャービジネスについて認識を深めてもらえばと思っています。

(商学総論担当教授)

第40回中国四国学生ゼミナール大会に参加して

熊井佐知子・河村 智子



11月17・18日に開催されたインター・ゼミ大会に、私たち山本ゼミは本学を代表してオブザーバー参加した。私たちは「社会政策論」部門で「21世紀の雇用形態を考える」をテーマに、山口大・柳澤ゼミ、有田ゼミと討論した。

私たちは「女性労働者」の視点から、相手ゼミは「企業」の視点から雇用問題について議論した。私たち3年生は就職活動を実体験したことなく、資料に頼りきった討論となった。しかし、違った視点から物事を討論することにより、新しい見解を持つことができ、視野を広げることができた。また、文献やデータの読み込み・論文の書き方などの基礎的なことも改めて学ぶことができた。

私たちは今までゼミに対して真剣さや自主性が欠けていた。しかしこの大会に参加したことにより、自主性を持つことができ、ゼミの活性化につながった。このことがゼミだけでなく、私たちの大学生活全般においての転機になればと思った。そして他の学生にもこのような体験をしてもらいたいと思った。

現在市大では、このように他大学・他ゼミと討論する機会に恵まれていない。正確に言えば機会はあるが、学生に参加する意欲がないのである。大会に参加することは学生にとってすばらしい体験となるので、市大生はもっとゼミに真剣に取り組み、自主性を持ってもらいたい。

(国際商学科3年)

インター・ゼミへの参加で思うこと

西戸 隆義

「先生くわいいですよ、討論にほとんど加わることができなかったです。しっかり勉強して来年も絶対に行きますから。」インター・ゼミ大会に出席した3年ゼミ生が、大会から戻って来て、まず私に語ったことである。討論に加われなかつたのは少し残念だが、勉学に前向きに取り組むように刺激されたことで、インター・ゼミに参加させたことをよしとしよう、と思った。この学生も4年生になり、優れた卒業論文を完成させた。

私のゼミの3年生は、全日本証券研究学生連盟が主宰する「証券ゼミナール大会」に毎年参加している。以前はゼミ生のなかで希望する学生のみが参加していたが、昨年からは3年ゼミ生全員を参加させるようにした。やはり、ゼミに入る以上、学生に対してインター・ゼミでの研究発表という目的を持たせたほうが勉学に張り合がりが出るし、研究も自主的に取り組めるのではないかと考えたからである。

ゼミ生は10月までにインター・ゼミ用の報告論文を本部に提出しなければならず、主に夏期休暇を利用してこれに励んでいる。秋季のゼミでは、この論文を中心にゼミ生が互いに意見を述べ合い、そしてインター・ゼミ本番に臨む。報告論文を作成した以降は、学生の意識も変わり、それ以前と比べてゼミでの質疑が活発になってくる。

「議論で他大学を打ち負かしてきましたよ」と頼もしい言葉を聞くには、まだ時間がかかりそうだが、学生のゼミへの取り組みは毎年着実に向上しているように思う。

(国際金融論担当助教授)

主体的な学習意欲の育成を目指して —カリキュラム改革の骨子—

前号で、その概要を紹介したように、来年度から、カリキュラムが一部改訂される。おもに「基礎演習」と「共同自主研究」について、導入のねらいと内容を紹介しよう。

「基礎演習」は、1年次春学期に約40クラスが集中開講される。大学教育への適応力を養うことをねらいとし、個々の演習テーマの探究を通じて、学習技能やコミュニケーション能力を磨き、主体的な学習意欲を養う。このため、課題に応じた文献の見つけ方の指導や、レジュメやレポートを通じての作文指導など、すべてのゼミで共通した指導を行う。

「共同自主研究」は、2年次生以上を対象に、学生グループによる自主的な共同研究の成果を、「自発学習科目」(履修制限の対象外)の履修とみなして単位認定する制度である。学生がみずからテーマを決めて、共同で調査・研究に取り組むことにより、主体的な学習意欲を養うことなどをねらいとしている。各グループにはアドバイザー的な教員がつくが、学生はテーマに応じて、自由にこの担当教員を選ぶことができる。数多くの自主研究グループが生まれることを期待している。

このほか、経済学科では、専門の導入教育として、1年次春学期に複数の教員による共同授業によって「現代経済学入門」(2単位)が開講されるほか、国際商学科でも、「情報処理演習」などが新設される。

平成13年度就職状況

平成9年に就職協定が廃止され、早い企業では1月から会社説明会をはじめるところがでてきた。

この影響を受け、秋学期試験終了直後(2月中旬)から学生は就職戦線に突入し、本学の就職委員もその対応に奔走した。今年度の本学の内定状況は現時点(14.1.15)で昨年に比較すると3.2ポイントの上昇となった。

しかし、厚生労働省が発表した平成13年11月(12月28日発表)の有効求人倍率(求職者1人当たりの求人数)は、全国で

0.53倍と5ヶ月連続で悪化している。その中で、九州・沖縄地区は全国10ブロックの中で2番目に低く、0.41倍でしかない。平成14年も厳しい雇用状況が続く。新4年生の健闘を切に祈りたい。

本学の平成14年1月21日現在の内定率は、男子62.8%、女子78.8%、全体で68.6%である。主な就職先は下記のとおり。

平成13年度就職内定一覧表 (平成14.1.21現在)

■鉱業(1) 日鉄鉱業	上組 三菱化学物流 阪神高速道路公団 岡山県貨物運送 名鉄運輸 帝都高速度交通運営団 阪急交通社 HIS ANAスカイパル 防長トラベル 農協観光 関光汽船 佐川急便九州支社 佐川物流サービス 三井倉庫九州 メーラ ファイブ・スター・クラブ 道路サービス機構	スピナ 日本セラミオン 松原 尾河 ファイブフォックス アールビバン ルイ・ヴィトン・ジャパン マックスバリュ西日本 西松屋チェーン ブルーグラス 三城 メガネットップ インテリアセンター たけうち コベルコ建機西日本	倉重こどもクリニック ■教育(8) 進学会 俊英館 ノヴァ アリストグループ ホームコンピューティングネットワーク 育英館 徳進塾
■建設(16) 大和ハウス工業 積水ハウス 飛島建設 レオパレス21 日本国土開発 ミサワホーム中国 山口セキスイハイム 扶桑建設工業 穴吹工務店 原弘産 エス・パイ・エル九州 大倉建設 エルクホームズ	■通信(1) 豊通テレコム ■商社(25) 日立ハイテクノロジーズ 国分 小倉興産 キャノン販売 兼松エレクトロニクス 三谷産業 大阪工機 大分ゼロックス 不二貿易 常盤薬品 三喜商事 シモセン トラスコ中山 扶桑電通 福岡リコー 日本果実工業 コスモプラス イービーエム 秀長水産 丸永永野県水	■銀行(24) 国民生活金融公庫 中小企業金融公庫 山口銀行 伊予銀行 広島銀行 西京銀行 トマト銀行 中国銀行 大分銀行 愛媛銀行 鳥取銀行 広島総合銀行 熊本ファミリー銀行 筑邦銀行 百十四銀行 びわこ銀行 せとうち銀行	■その他サービス(42) 応用地質 有線ブロードネットワークス 東京コンピュータサービス チガミ ソフネット 日研総業 サイバーネット アドベントマネージメントコンサルティング アクティス オーラー エス・シー・エス 日本コンピューター サンクリーン九州 サンクリーン広島 ビーマインド パソナ シティアスコム 宇部情報システム 遠鉄観光開発 JA山口宇部 JA尾道市 JAくにびき 日本システムウェア インテリアセンター 日本医療事務センター シーアーシー ティー・シー・シー 富士通デジタルシステムエンジニアリング 和田会計事務所 フルキャストウズ ラック アビバグループ 新居浜テレビネットワーク ユアーズホテル福井 朝日ビルマネジメントサービス コスモ・コンピュータ・ビジネス 旅行総研
■食料品(5) 伊藤園 日本食研 カバヤ食品 白十字 農水フーズ	■小売(59) ダイエー ロイヤル イズミ セブンイレブンジャパン デオデオ サイゼリア ヨドバシカメラ ひまわり すかいらーく シズカ・グループ 嘉穂無線 コープやまぐち サンデーサン ブレナス ナフコ タイヨー ヨネザワ ジョイフル ジーンズカジュアル・ダン アプライド ヤノメガネ ゲンキー 日産プリンス大阪 雑貨屋ブルドッグ トヨタカローラ山口 ネットヨタ山口 井野屋 カヤ ブレナス・エムケイ	■保険(1) 第一生命保険 ■商品取引(6) 三貴商事 オリエント貿易 西友商事 あしたば商品 エース交易 ■その他金融(18) 下関信用金庫 宇部信用金庫 岐阜信用金庫 鹿児島信用金庫 唐津信用金庫 但陽信用金庫 三洋信販 しんわ プロミス アコム 武富士 アイフル ■不動産(12) 不動産中央情報センター JSB 住宅情報館 西武ハウス 緑都開発 漆屋 えん ソロン 東武住販 地域科学研究所	■国家公務(6) 社会保険庁 九州郵政局(III) 中国郵政局(III) 自衛隊 入国警備官 ■地方公務(15) 下関市役所 高知市役所 新居浜市役所 田邊市役所 光市役所 平田市役所 山口県警察 福岡県警察 鹿児島県警察 他
■衣服・織維(2) フランドル ジュングループ	■出版・印刷(4) 中央出版 大日本印刷 ぎょうせい エス・ピー・シー	■証券(4) 野村ホールディングス下関 日興コーディアル証券福岡 丸三証券北九州 国際証券下関	■自営(8)
■化粧(9) アストラゼネカ 日本メナード化粧品 ファイザー製薬 日本ケミファ 旭化成工業 再春館製薬所	■小売(59) ダイエー ロイヤル イズミ セブンイレブンジャパン デオデオ サイゼリア ヨドバシカメラ ひまわり すかいらーく シズカ・グループ 嘉穂無線 コープやまぐち サンデーサン ブレナス ナフコ タイヨー ヨネザワ ジョイフル ジーンズカジュアル・ダン アプライド ヤノメガネ ゲンキー 日産プリンス大阪 雑貨屋ブルドッグ トヨタカローラ山口 ネットヨタ山口 井野屋 カヤ ブレナス・エムケイ	■保険(1) 第一生命保険 ■商品取引(6) 三貴商事 オリエント貿易 西友商事 あしたば商品 エース交易 ■その他金融(18) 下関信用金庫 宇部信用金庫 岐阜信用金庫 鹿児島信用金庫 唐津信用金庫 但陽信用金庫 三洋信販 しんわ プロミス アコム 武富士 アイフル ■不動産(12) 不動産中央情報センター JSB 住宅情報館 西武ハウス 緑都開発 漆屋 えん ソロン 東武住販 地域科学研究所	合計 325名
■石油・石炭(1) 出光興産	■小売(59) ダイエー ロイヤル イズミ セブンイレブンジャパン デオデオ サイゼリア ヨドバシカメラ ひまわり すかいらーく シズカ・グループ 嘉穂無線 コープやまぐち サンデーサン ブレナス ナフコ タイヨー ヨネザワ ジョイフル ジーンズカジュアル・ダン アプライド ヤノメガネ ゲンキー 日産プリンス大阪 雑貨屋ブルドッグ トヨタカローラ山口 ネットヨタ山口 井野屋 カヤ ブレナス・エムケイ	■保険(1) 第一生命保険 ■商品取引(6) 三貴商事 オリエント貿易 西友商事 あしたば商品 エース交易 ■その他金融(18) 下関信用金庫 宇部信用金庫 岐阜信用金庫 鹿児島信用金庫 唐津信用金庫 但陽信用金庫 三洋信販 しんわ プロミス アコム 武富士 アイフル ■不動産(12) 不動産中央情報センター JSB 住宅情報館 西武ハウス 緑都開発 漆屋 えん ソロン 東武住販 地域科学研究所	■自営(8)
■鉄鋼(1) 佐藤金属	■小売(59) ダイエー ロイヤル イズミ セブンイレブンジャパン デオデオ サイゼリア ヨドバシカメラ ひまわり すかいらーく シズカ・グループ 嘉穂無線 コープやまぐち サンデーサン ブレナス ナフコ タイヨー ヨネザワ ジョイフル ジーンズカジュアル・ダン アプライド ヤノメガネ ゲンキー 日産プリンス大阪 雑貨屋ブルドッグ トヨタカローラ山口 ネットヨタ山口 井野屋 カヤ ブレナス・エムケイ	■保険(1) 第一生命保険 ■商品取引(6) 三貴商事 オリエント貿易 西友商事 あしたば商品 エース交易 ■その他金融(18) 下関信用金庫 宇部信用金庫 岐阜信用金庫 鹿児島信用金庫 唐津信用金庫 但陽信用金庫 三洋信販 しんわ プロミス アコム 武富士 アイフル ■不動産(12) 不動産中央情報センター JSB 住宅情報館 西武ハウス 緑都開発 漆屋 えん ソロン 東武住販 地域科学研究所	合計 325名
■一般機械(6) 川本製作所 長府製作所 長府工産 不二精機 いけうち 川西水道機器	■小売(59) ダイエー ロイヤル イズミ セブンイレブンジャパン デオデオ サイゼリア ヨドバシカメラ ひまわり すかいらーく シズカ・グループ 嘉穂無線 コープやまぐち サンデーサン ブレナス ナフコ タイヨー ヨネザワ ジョイフル ジーンズカジュアル・ダン アプライド ヤノメガネ ゲンキー 日産プリンス大阪 雑貨屋ブルドッグ トヨタカローラ山口 ネットヨタ山口 井野屋 カヤ ブレナス・エムケイ	■保険(1) 第一生命保険 ■商品取引(6) 三貴商事 オリエント貿易 西友商事 あしたば商品 エース交易 ■その他金融(18) 下関信用金庫 宇部信用金庫 岐阜信用金庫 鹿児島信用金庫 唐津信用金庫 但陽信用金庫 三洋信販 しんわ プロミス アコム 武富士 アイフル ■不動産(12) 不動産中央情報センター JSB 住宅情報館 西武ハウス 緑都開発 漆屋 えん ソロン 東武住販 地域科学研究所	合計 325名
■電気機械(3) NEC 三菱電機 TOA	■小売(59) ダイエー ロイヤル イズミ セブンイレブンジャパン デオデオ サイゼリア ヨドバシカメラ ひまわり すかいらーく シズカ・グループ 嘉穂無線 コープやまぐち サンデーサン ブレナス ナフコ タイヨー ヨネザワ ジョイフル ジーンズカジュアル・ダン アプライド ヤノメガネ ゲンキー 日産プリンス大阪 雑貨屋ブルドッグ トヨタカローラ山口 ネットヨタ山口 井野屋 カヤ ブレナス・エムケイ	■保険(1) 第一生命保険 ■商品取引(6) 三貴商事 オリエント貿易 西友商事 あしたば商品 エース交易 ■その他金融(18) 下関信用金庫 宇部信用金庫 岐阜信用金庫 鹿児島信用金庫 唐津信用金庫 但陽信用金庫 三洋信販 しんわ プロミス アコム 武富士 アイフル ■不動産(12) 不動産中央情報センター JSB 住宅情報館 西武ハウス 緑都開発 漆屋 えん ソロン 東武住販 地域科学研究所	合計 325名
■輸送用機械(4) 日本輸送機 スズキ 香洋工業 日鐵バルブ	■小売(59) ダイエー ロイヤル イズミ セブンイレブンジャパン デオデオ サイゼリア ヨドバシカメラ ひまわり すかいらーく シズカ・グループ 嘉穂無線 コープやまぐち サンデーサン ブレナス ナフコ タイヨー ヨネザワ ジョイフル ジーンズカジュアル・ダン アプライド ヤノメガネ ゲンキー 日産プリンス大阪 雑貨屋ブルドッグ トヨタカローラ山口 ネットヨタ山口 井野屋 カヤ ブレナス・エムケイ	■保険(1) 第一生命保険 ■商品取引(6) 三貴商事 オリエント貿易 西友商事 あしたば商品 エース交易 ■その他金融(18) 下関信用金庫 宇部信用金庫 岐阜信用金庫 鹿児島信用金庫 唐津信用金庫 但陽信用金庫 三洋信販 しんわ プロミス アコム 武富士 アイフル ■不動産(12) 不動産中央情報センター JSB 住宅情報館 西武ハウス 緑都開発 漆屋 えん ソロン 東武住販 地域科学研究所	合計 325名
■精密機械(1) ミネベア	■小売(59) ダイエー ロイヤル イズミ セブンイレブンジャパン デオデオ サイゼリア ヨドバシカメラ ひまわり すかいらーく シズカ・グループ 嘉穂無線 コープやまぐち サンデーサン ブレナス ナフコ タイヨー ヨネザワ ジョイフル ジーンズカジュアル・ダン アプライド ヤノメガネ ゲンキー 日産プリンス大阪 雑貨屋ブルドッグ トヨタカローラ山口 ネットヨタ山口 井野屋 カヤ ブレナス・エムケイ	■保険(1) 第一生命保険 ■商品取引(6) 三貴商事 オリエント貿易 西友商事 あしたば商品 エース交易 ■その他金融(18) 下関信用金庫 宇部信用金庫 岐阜信用金庫 鹿児島信用金庫 唐津信用金庫 但陽信用金庫 三洋信販 しんわ プロミス アコム 武富士 アイフル ■不動産(12) 不動産中央情報センター JSB 住宅情報館 西武ハウス 緑都開発 漆屋 えん ソロン 東武住販 地域科学研究所	合計 325名
■その他製造(8) 日之出水道機器 タカラスタンダード クリナップ 三貴 日新リフラテック 中越バルブ工業	■小売(59) ダイエー ロイヤル イズミ セブンイレブンジャパン デオデオ サイゼリア ヨドバシカメラ ひまわり すかいらーく シズカ・グループ 嘉穂無線 コープやまぐち サンデーサン ブレナス ナフコ タイヨー ヨネザワ ジョイフル ジーンズカジュアル・ダン アプライド ヤノメガネ ゲンキー 日産プリンス大阪 雑貨屋ブルドッグ トヨタカローラ山口 ネットヨタ山口 井野屋 カヤ ブレナス・エムケイ	■保険(1) 第一生命保険 ■商品取引(6) 三貴商事 オリエント貿易 西友商事 あしたば商品 エース交易 ■その他金融(18) 下関信用金庫 宇部信用金庫 岐阜信用金庫 鹿児島信用金庫 唐津信用金庫 但陽信用金庫 三洋信販 しんわ プロミス アコム 武富士 アイフル ■不動産(12) 不動産中央情報センター JSB 住宅情報館 西武ハウス 緑都開発 漆屋 えん ソロン 東武住販 地域科学研究所	合計 325名
■運輸(28) 日本通運 日本通運航空事業部 日本通運下関国際輸送支店 福山通運	■小売(59) ダイエー ロイヤル イズミ セブンイレブンジャパン デオデオ サイゼリア ヨドバシカメラ ひまわり すかいらーく シズカ・グループ 嘉穂無線 コープやまぐち サンデーサン ブレナス ナフコ タイヨー ヨネザワ ジョイフル ジーンズカジュアル・ダン アプライド ヤノメガネ ゲンキー 日産プリンス大阪 雑貨屋ブルドッグ トヨタカローラ山口 ネットヨタ山口 井野屋 カヤ ブレナス・エムケイ	■保険(1) 第一生命保険 ■商品取引(6) 三貴商事 オリエント貿易 西友商事 あしたば商品 エース交易 ■その他金融(18) 下関信用金庫 宇部信用金庫 岐阜信用金庫 鹿児島信用金庫 唐津信用金庫 但陽信用金庫 三洋信販 しんわ プロミス アコム 武富士 アイフル ■不動産(12) 不動産中央情報センター JSB 住宅情報館 西武ハウス 緑都開発 漆屋 えん ソロン 東武住販 地域科学研究所	合計 325名

インターンシップ報告会について

就職委員長 川本 忠雄

10月18日に8月下旬のインターンシップ試行(受入先、下関市役所産業経済部)の報告会が行われた。試行に参加した3年生4名が、各人報告しその後、質疑が行われた。報告者の全員が、本夏の経験を非常に貴重で有意義であったと評価していたのが印象的であった。また当所、考えていた公務員に対するイメージがかなり修正された学生もいた。当日、報告会参加者へアンケートを実施した。来年以降の希望として、受入枠(人数、企業数)の拡大が一番多かった。また日数は1~2週間、時期は夏休み前半の希望者が多数であった。しかし報告会への出席者が多くなかったのは残念である。将来的にはインターンシップは、大学教育の重要な柱の一つになると予測されている。来年より正式の委員会が発足し、インターンシップが質量とも充実していく。全面協力を願う(特に専門ゼミ担当教員へ)。

(国際経済論担当教授)

推薦入学・特別選抜・編入学の試験を実施

11月17日、本学において2002年度推薦入学・帰国子女特別選抜・編入学の試験が実施された。全国推薦では、各学科30名の募集に対して経済学科96名(前年度24名の募集に76名)、国際商学科65名(同65名)、地域推薦では、各学科35名の募集に対して経済学科50名(前年度36名の募集に48名)、国際商学科43名(同40名)の志願者があった。帰国子女特別選抜では、各学科2名の募集に対して国際商学科1名(前年度なし)の志願者があった。社会人特別選抜には志願者がなかった。編入学では、各学科10名の募集に対して経済学科8名(前年度11名)、国際商学科17名(同12名)の志願者があった。

合格者の内容は次の通り。全国推薦では経済学科30名、国際商学科31名。地域推薦では経済学科35名、国際商学科35名。帰国子女特別選抜では国際商学科1名。編入学では経済学科4名、国際商学科9名。

志願状況を前年度と比べると、全国推薦では経済学科で20名増加し、国際商学科では増減なし。今年度募集人員を増やしているので、それぞれの倍率は3.2倍(前年度3.2倍)と2.2倍(同2.7倍)とほぼ例年並みとなった。1校あたりの推薦人員を増やしたことでも志願者増に影響していると思われる。一方、地域推薦では経済学科で2名、国際商学科で3名志願者が増加し、倍率はそれぞれ1.4倍(前年度1.3倍)と1.2倍(同1.1倍)となった。地域推薦の志願者はこれまで減少傾向にあったが、今年度微増に転じた。編入学では、目的意識の明確な社会人の出願が特に印象的であった。

大学院・経済学研究科学生募集(第二次)

本学大学院には、現在、経済社会システム専攻に2年生6名、1年生4名、国際ビジネスコミュニケーション専攻に2年生6名、1年生5名が在籍している。

昨年10月実施の平成14年度入試(第一次)では、経済社会

システム・国際ビジネスコミュニケーション合わせて6名の合格者をみている。

以下の要領で平成14年度の学生募集(第二次)を行う。

1. 募集人員

経済社会システム専攻	若干名
国際ビジネスコミュニケーション専攻	若干名

2. 試験期日・出願期間

試験期日: 平成14年3月16日(土)

出願期間: 平成14年2月20日(水)~2月27日(水)

(※出願資格に関する詳細は本学教務部へ)

3. 選抜方法

入学者の選抜は出願書類、筆記試験及び口述試験により総合判定する。

	一般選抜	社会人選抜	外国人留学生選抜
小外國論語又文は	外国語 (英語、中国語、朝鮮語より1科目選択)	小論文 (社会科学全般に関する常識問題)	
論述試験	理論経済・社会政策・労働経済・地域産業・世界経済史・経済地理・都市環境・地方自治法・経営管理・人事労務管理・日朝関係史・開発経済・国際コミュニケーションの13分野について出題するので、そのうち1問を選択。		
口述試験	志願者の研究意欲、研究能力、研究計画、就学条件等を判定する。		

※「社会人選抜」・「外国人留学生選抜」の該当者は「一般選抜」でも受験できる。ただし、事前に届け出た選抜方法は変更できない。

※永住外国人を除く外国人、あるいは外国人留学生が「一般選抜」で受験する場合は、母国語の選択はできない。

※外国語の選択は出願時に限り、以後の変更は認められない。

※外国語は辞書持ち込み可。

4. 合格発表

平成14年3月22日(金)午前10時、本学にて

大学院経済学研究科研究生制度

本学の施設を利用して特定の研究をする研究生規程を制定。履修期間: 1年以内。短期間の履修、延長も可。

入学時期: 不定期

研究生資格: ①修士の学位を有する者 ②外国において修士の学位に相当する学位を授与された者 ③大学を卒業し、又は同等の学力があると認められる者で、卒業後一定の年限を経過し、かつ一定年限の職歴を有していること ④③を満たし、企業・官公庁・友好交流協定校等から派遣される者にあっては、所属長の推薦を受けていること。(この者にあっては、③の卒業後及び職歴の年限に関する規定は適用しない)

志願方法: 学年、学期開始1ヶ月前までに出願書類を提出。

出願書類: ①研究生入学願 ②履歴書 ③研究計画書 ④最終出身校の卒業(修了)証明書又は学位記証明書 ⑤その他本学が必要と認めるもの ⑥入学検定料・入学金・授業料

私の教育・研究

白川 春子(朝鮮語)



私は本学で朝鮮語の授業を担当しています。朝鮮語(韓国語)の文字ハングルは「〇」や「丨」の組み合わせで、これが文字かと思われる方も多いかもしれません、実は非常に合理的に作られた表音文字です。文法も日本語とよく似ていますし、表記は普通、ハングルでしますが、

漢字も使います。朝鮮語は日本人が最も学びやすい言語であると思います。みなさんもぜひ勉強してみて下さい。

私の専門は朝鮮の近代文学で、特に朝鮮近代文学の父とも言える李光洙(1892~1950)の作品などを研究しています。李光洙が活躍した1900年代前半の朝鮮は日本の植民地時代(1910~1945)でした。また李光洙自身、若くして日本に留学しています。彼の生涯と作品を研究すると日本の植民地支配下で朝鮮民族の明日を憂いつつも親日の道を歩まざるをえなかった苦悩する知識人の姿が見えてきます。

韓国・朝鮮はいうまでもなく隣国です。歴史的、文化的にも常に深い関わりがあります。また朝鮮の近代という視点で日本の近代を問いかけることは、日本の今日と将来を考える上で大事なことを示唆してくれるよう思います。みなさんもぜひ隣国の歴史、文化を学んで下さい。

研修報告

タッド・J・ラトキン



この4月から9月まで、皆様の御協力により、サンフランシスコの州立大学のバット・ポーター教授のもとで、「外國語としての英語の教授法」についての研究をさらに深めることができました。サンフランシスコは、1年を通じて比較的温暖で過ごしやすく、とても美しい街です。緑が多く広々としたキャンパスで、同じフィールドの方達との交流はもちろんのこと、全く違ったフィールドで御活躍されている方達との交流は、新しい発見が多くあり、思考に柔軟性を持たせるにはとても役に立ち、楽しいもので、得るものが多く多かったです。さて、のびのびとしたこの環境で、教授陣の快い御協力のもと、スムーズに研究を終え、帰り支度を始めるなか、あのニューヨークでの事件が起きました。母国が攻撃されたという怒りとか、安全性に対する不安うんぬんの感情は湧かず、ただひたすら

らやるせなく、人間としてどう生きていくべきなのか、何が一番大事なのか深く考えさせられました。そして、またあるかも知れない攻撃に対する恐怖よりも、メディアによって凄い勢いで駆立てられ、また揺さぶられている国民感情に恐怖を感じ、あの時にアメリカにいなくては、味わえなかったであろういろいろな人間の心の動きや、考えを目の当たりにしました。この場ではとても語りきれないものです。どうかもう一度考えてみて下さい。みんなの違いを認めあうということは、どういうことなのか、それが分かったら、日々の生活も随分楽になると思うのですが。

(英語担当助教授)

健康相談室の窓から(2)

健康相談室長 横山 博司

相談室の利用者数は年を追うごとに増加している。平成6年に649人(以下全て数値は延べ人数)だった利用者が、平成8年には1439人となり、初めて1000人を突破した。その後、ずっと1000人台だったのが平成12年には2623人となった。そのうち心理相談は平成6年に86名であったが平成12年には約2倍の180人となっている。現在2人のカウンセラーで対応しているが、カウンセリングのために十分な時間がとれない状況が起こりつつある。またカウンセリングの対象ではないが、相談室を溜まり場にしている学生は、平成6年に370人だったのが、平成12年には4.7倍の1749人にのぼっている。

本年度の利用者数も平成12年度と同じ数で推移しそうである。利用者の増加は、担当者にとって負担となるが、相談室に来ることで元気になってくれれば、担当者にとって何よりの励みとなる。問題があるときには遠慮なく訪ねてほしい。

(教育心理学担当教授)

きらら博に行って

孫 逢明



いつもテレビできらら博についてのコマーシャルを見ていて、行きたかったが、なかなか時間がなくて、行けなかった。今回知事の奥様たち(カサベルダ)から切符をいただいたので、「ぜひ休ませてください」とバイト先の店長に頼んだ。いい天気にも恵まれて、一日楽しく過ごした。山口県各地の展示室を回って、大体の様子もわかった。21世紀の環境を守ろうというのが主題だったらしい。各ショーや見てから、自分は地球人の1人として後世にいい生活環境を残すべきだとつくづく感じた。また、異国風景を見られたり、母国になつかしい曲も聞いた。実際に国際化だと実感した。帰る時、道の両側から車誘導の人たちが私達に手を振っていた。そのやさしい心づかいが無言のうちに伝わってきた。機会さえあれば、ぜひまた行ってみたい。

人々の笑顔が写真のように頭の中に入っている。何十年経っても忘ることはないだろう。(特別聴講学生)

※「カサベルダ」(代表二井県知事夫人)から本学留学生にきらら博の招待券がプレゼントされ、約20名がバスで同行。その感想文の一つです。

アメリカから大学関係者の来訪



10月15日、アレックス・イリッヂ氏(下関の姉妹都市、カリフォルニア州・ピツバーグ市にあるロスメダノスカレッジの関係者、写真左から2人目)が本学を訪れた。下山学長ほか教職員と面談し、大学間の友好交流構想の具現化について協議した。

インターネットの回線速度を高速化しました

11月1日よりインターネットの回線速度を1.5Mbpsに高速化しました。以前に比べると応答時間が短くなり、応答待ちのイライラもかなり解消されたのではないかと思います。現在、学術センター地下の電算機実習室(インターネットパソコン80台設置)とB講義棟229番教室(インターネットパソコン40台設置)を授業のないときは学生の皆さんに開放しています。おおいに利用され情報技術を身に付けて下さい。

授業開講期間 9時~19時

休業期間 12時~17時

(ただし、土曜、日曜、祝日は開放しません。)

オンラインジャーナル、4月より導入

図書館長 雲島 悅郎

図書館はオンラインジャーナル検討委員会に諮ってオンラインジャーナルの導入について検討した結果、最終的には図書館運営委員会の判断で、平成14年4月より1年契約でBell & Howell Information and Learning社のインターネットサービス、ProQuest Academic Research Libraryを採用することに決定しました。同データベースは人文・社会科学から自然科学まで幅広い分野の雑誌・新聞を収録したもので、過去に週った記事から最新記事まで提供されます(索引は2,300誌以上、全文記事サービスは1,500誌以上)。オンラインジャーナルの導入により、従来は図書館で購読できなかった雑誌が数多く読めるようになりますので大いに活用して下さい。

(英語担当教授)

中国語暗誦・弁論大会に入賞

昨年12月9日に開催された「燎原会第25回中国語暗誦・弁論大会」において、本学学生が入賞しました。

入賞者 第2位 福田 聰(経済学科3年)

第3位 上杉 陽子(国際商学科2年)

受賞の感想:練習と先生の指導のお陰。これからも“気持ちを込めて物事に取り組むこと”“支えられているという実感”を大事にし学んでいきたい。(上杉 陽子)

心踊れば皆同じ 大廣 能久

私たちよさこいダンスサークルは、高知、福岡、佐世保などの祭りへ参加することを主な活動としています。祭りでは踊り子と観客が雰囲気を共感できます。そして自分たちの気持ちをおもいっきり表現することができ、その爆発させたパワーが各祭りでの賞にもつながっています。また、馬鹿祭やイベントに参加して地域活性化に貢献したり、老人ホームを慰問して踊ったときに、感動して流してくれた涙には、逆に胸を熱くさせられました。(経済学科1年)

第48回関北インカレ秋季大会結果報告

北九州・下関地区の19大学が参加し、13競技で熱戦を繰り広げた、第48回北九州・下関地区大学体育大会(通称、“関北インカレ”)秋季大会の成績は次のようになりました。

今年度は、西南女学院大学・西南女学院短期大学が当番大学となり10月20日から12月9日までの期間実施されました。大会運営等では大変お世話になりました。

春季大会は4月下旬より東亞大学幹事校の引受けで開催されますので、尚一層の活躍を期待しております。

競技種目	成績	競技種目	成績
準硬式野球	1回戦敗退	バスケットボール	男団 3位
硬式庭球	男団 1回戦敗退 女団 3位		女団 2回戦敗退
ソフトテニス	男団 2回戦敗退	空手道	男団 ベスト8
	女団 優勝		女個型 優勝、3位 女団 優勝・準優勝
卓球	男団 優勝	剣道	男団 初戦敗退 女団 初戦敗退
	ダブルス 優勝		男団 初戦敗退 女団 初戦敗退
	シングル 3位	柔道	男団 初戦敗退 女団 初戦敗退
バレーボール	男団 1回戦敗退	弓道	男団 6位
サッカー	優勝		女団 4位
バドミントン	男団 初戦敗退		
	女団 3位		

学生団体新役員紹介

中央委員会



小林君

委員長	小林 泰三	国際商学科	2年
副委員長	宍戸 亜紀	国際商学科	2年
副委員長	志田原久史	経済学科	2年
書記長	井上 強太	経済学科	2年



周藤君

会長	周藤伸次郎	国際商学科	3年
副会長	古野 健吉	経済学科	3年
書記長	乾 伸彰	国際商学科	3年



菅原さん

会長	菅原 里絵	国際商学科	3年
副会長	井上 雅之	経済学科	3年
副会長	岩木 保幸	経済学科	3年
書記長	能間 祥子	経済学科	3年



伊東君

委員長	伊東 和彦	経済学科	2年
副委員長	江熊 洋祐	国際商学科	2年
副委員長	浅尾 浩樹	国際商学科	2年
総務	松田 瞳美	国際商学科	2年

下関市立大学後援会援助規程による表彰

(平成13年3月・平成13年10月)

【各種大会(体育・文化)出場報奨】

2000年度山口県サッカーリーグ大会

サッカー部 優勝

第51回中国学生卓球選手権大会秋季大会

個人戦優勝 桑野 由美

第46回中四国学生弓道選手権大会

個人戦優勝 高橋 和也

山口県学生ソフトテニス選手権大会

ダブルス2位 田川博司・迫部真一

第47回北九州・下関地区大学体育大会秋季大会

サッカー部 優勝

第48回北九州・下関地区大学体育大会春季大会

ソフトテニス団体男子A 準優勝

ソフトテニス団体女子B 優勝

サッカー部 優勝

陸上 100mの部 優勝 梶 孝之

陸上 200mの部 優勝 梶 孝之

陸上 3000mの部 優勝 佐貫 美子

陸上 5000mの部 準優勝 中脇 健太

第29回山口県少林寺拳法大会

組演武一般初段の部 一位 岩佐健太郎・周藤伸次郎

組演武一般段外の部 一位 妹尾 克也・福井 健二

第36回少林寺拳法中四国学生大会

男子初段の部 一位 岩佐健太郎・周藤伸次郎

全日本中国語スピーチコンテスト第2回山口県大会

弁論の部(一般部門) 二位 中塚 康博

弁論の部(基礎) 一位 城山 拓也

全日本中国語スピーチコンテスト第3回山口県大会

暗誦の部 一位 小村 美果 二位 門脇 里美

朗誦の部 一位 佐貫 美子 二位 谷 絵里奈

弁論の部(一般部門) 一位 城山 拓也

弁論の部(基礎) 一位 岡 雅之 二位 上杉 陽子

【各種資格取得報奨】

経済学科 H13.3卒 川地 信輔 初級システムアドミニストレータ

H13.3卒 植木 崇義 初級システムアドミニストレータ

H13.3卒 花田 英之 初級システムアドミニストレータ

4年 砂川 健作 通関士

4年 田中 克正 司書

4年 信近 幸子 CADトレース技能審査

3年 下田 博史 情報処理技術者試験

3年 谷 和幸 情報処理技術者試験

3年 濱田 淳 情報処理技術者試験

2年 真鍋 明子 初級システムアドミニストレータ

H13.3卒 木田 洋子 秘書技能検定2級

- 11月1日(木) 推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)・編入学願書受付開始 11/9まで
 12日(月) 連続テーマ講座「歴史の潮流にあらわれる下関(瀬戸内海の弥生人)」
 14日(水) 連続テーマ講座「歴史の潮流にあらわれる下関(下関地域の考古学)」就職ガイダンス
 16日(金) 連続テーマ講座「歴史の潮流にあらわれる下関(壇の浦と下関)」
 17日(土) 連続テーマ講座「歴史の潮流にあらわれる下関(綾羅木郷台地跡を歩く)」推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)・編入学入試
 19日(月) 連続テーマ講座「歴史の潮流にあらわれる下関(長門国府)」
 21日(水) 連続テーマ講座「歴史の潮流にあらわれる下関(毛利氏と長府藩)」
 22日(木) 連続テーマ講座「歴史の潮流にあらわれる下関(近世下関の国際交流)」
 24日(土) 連続テーマ講座「歴史の潮流にあらわれる下関(城下町長府を歩く)」
 26日(月) 推荐入学・特別選抜(帰国子女・社会人)・編入学合格発表
 27日(火) 連続テーマ講座「歴史の潮流にあらわれる下関(明治維新と下関)」
 28日(水) 連続テーマ講座「歴史の潮流にあらわれる下関(日清戦争と下関)」推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)・編入学入試開始 12/5まで
 29日(木) 連続テーマ講座「歴史の潮流にあらわれる下関(近代下関の国際交流)」
 12月1日(土) 連続テーマ講座「歴史の潮流にあらわれる下関(唐戸周辺を歩く)」
 3日(月) 特別選抜(中国引揚者等子女・外国人留学生)願書受付開始 12/14まで
 25日(火) 冬季休業開始 1/7まで
 28日(金) 公務納め

平成14年度行事予定

- 4月1日(月) 春季休業
 7日(日) 入学式
 8日(月) 春学期授業開始(オリエンテーションを含む)
 6月1日(土) 開学記念日
 7月16日(火) 夏季休業
 8月31日(土) 夏季休業
 9月2日(月) 春学期補講
 4日(水) 春学期定期試験
 5日(木) 春学期定期試験
 18日(水) 春学期定期試験
 10月7日(月) 秋学期授業開始
 11月上旬 大学祭
 12月25日(水) 冬季休業
 1月7日(火) 秋学期補講
 28日(火) 秋学期補講
 31日(金) 卒業式
 2月4日(火) 秋学期定期試験
 18日(火) 秋学期定期試験
 3月25日(火) 卒業式

編集後記

第31号より坂本学生部長を委員長とする現体制で発行してきたが、今回で最後となった。この間、高山事務局次長を編集の要として、大変円滑に作業ができた。今号の校正刷りを読み返してみて、内容の面でも執筆者が片寄ることなく、ようやく色々な方々に登場していただける紙面となつたのではないかとひそかに自負している。次号から新広報委員会での編集となるが、引き続きご愛読をお願いしたい。(谷口)

行事記録(2001年9月~12月)

- 9月3日(月) 春学期補講 9/5まで
 6日(木) 春学期定期試験開始 9/18まで
 10日(月) 大学院願書受付開始 9/17まで
 17日(月) 市民大学(中国語中級) 12/17まで
 18日(火) 就職ガイダンス
 19日(水) 市民大学(朝鮮語中級) 12/5まで
 20日(木) 市民大学(英語中級) 12/13まで
 26日(水) 市民大学(パソコン入門) 11/14まで
 10月6日(土) 大学院入試
 9日(火) 秋学期授業開始
 15日(月) 大学院入試合格発表
 18日(木) 春学期卒業式
 11月1日(木) 大学祭 11/4まで